

門 凡 2
號 3083
卷



漂客談奇

第一談

往年吳城に漂客ありは及降朝臣大依國其以部
有依浦漢人傳飛河人等其方是日正晴多部中ノ後
乃迄市之長濱市在河所於て法詮後所におぬる年
帰國仕進し其全傳りて其方其方其方其方其方其方
其方其方其方其方其方其方其方其方其方其方其方



一 和昔之人去天保十二年辛丑年正月十日有傳飛身重助曰不
實有傳の如合方ノ中合方より二丈六尺ノ漢船ニ白米一斗余用意
仕七日間之字依浦而帆は十日之間下の方與岸ノ中ぞんぞん
中不も扱いてくへ縄と申おる籍を納りし如後扱き又りし方

早稲田大學
第24.6.16
日 共

夏は六月の末の時に三日目を待たして三日の夜の
右より南の海に帆取一艘をこして方より来るを見たり
ある船を見たり所次舟に追うるも其大なる異國船と
おもふを揚げて彼船の船着に衣類をうけて付先押
漂流人方々群を見たりさせし彼船より十餘艘出
島より漕舟の金を取手押舟より大なる喜びをうけて
御座りある荒波の舟を付うて舟より衣類をひき取
れり来る船といふ船より衣類を取手押舟に故を事味
あるものありしを舟より舟より舟より舟より舟より
舟より舟より舟より舟より舟より舟より舟より舟より
洞窟の方と指し入る舟より舟より舟より舟より舟より

其船を人をもつせ洞窟より舟より舟より舟より舟より
皇御看舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟
付の船より舟より舟より舟より舟より舟より舟より舟
振るむる舟より舟より舟より舟より舟より舟より舟
夫れは舟より舟より舟より舟より舟より舟より舟より
則ち二艘の大船は漕舟より舟より舟より舟より舟より
三本建て舟より舟より舟より舟より舟より舟より舟
丁座より舟より舟より舟より舟より舟より舟より舟
船より舟より舟より舟より舟より舟より舟より舟より
衣類を取手押舟より舟より舟より舟より舟より舟
島より漕舟より舟より舟より舟より舟より舟より舟

脈の干おをさく死とらん蘇けいしんを大に利しんは
飢たり者俄に大食とんい死と事とわねと地いん海と事
初め舟を造り備うせり初め情流人なりと事ハ志ら
磯魚漁事と多め事と事人親と事又と事船と事板
は船ハ比果利幹マセツツと事中国と事蘇船と事船と事名と
内リヨソフイナセシと事サハ是と事一と事蘇船と事大蘇十
本を獲船中と事油を取肉ハ海中と事と十月と事サント
ウイス諸島と事内ウホホと事サハハ十口と事と事蘇十
帆仕ハ比果利幹國船備漢と事比果利幹ヨリ事と事
紳と人ニタツタリヨ一干と事サハ人有と事船と事ツイナセシ
ヨリハ人ニ入修事と事上漢修國蘇洋と事諸船と事

船中と事地果一枚いん事日本道と事指しん是と事類
身と事と事人子地果と事案内と事後故一向事と事
所と事舟又外佛と事を今と事作と事と事と事と事
干通と事船と事板と事と事又日本と事と事二十切事
一と事後と事又と事和製と事と事と事本取と事保と事
我共國作と事と事と事と事と事と事と事と事と事
舟十餘年と事大坂高船と事と事と事と事と事と事と事
修と事船と事と事と事と事と事と事と事と事と事
後一枚と事と事と事と事と事と事と事と事と事
利幹本國と事連れ事と事と事と事と事と事と事と事
万次年十と事歳と事と事

家ハ椰子と木を以て是く水を仰ぐ事又椰子と木を割く
肺の入りたる程を以て是を以て流るる矢を以て海軍仕の事國取
仕来を又交りて其男の海をわたりて終に煙草をわたりて
女を借し中におうき事此は是く成る事への事此言の三月
のギューエンと云ふ事此は是く島をわたりて其の事此言の三月
亞と人、吳り中の中も髪も黒く其髪仕の衣は他家他ハ作
別彼外外風も此の事此言の三月此の事此言の三月此の事
正南赤道より十二三度此の事此言の三月此の事此言の三月
新水をそり入成る事此言の三月此の事此言の三月此の事
不と南へ鯨魚一四斗此の事此言の三月此の事此言の三月
此の事此言の三月此の事此言の三月此の事此言の三月此の事

工とケと云ふ事此の事此言の三月此の事此言の三月此の事
漢方一人此の事此言の三月此の事此言の三月此の事此言の三月
イキリと云ふ事此の事此言の三月此の事此言の三月此の事
洞（衣）と云ふ事此の事此言の三月此の事此言の三月此の事
外の四月此の事此言の三月此の事此言の三月此の事此言の三月
帆仕の事此の事此言の三月此の事此言の三月此の事此言の三月
只身と云ふ事此の事此言の三月此の事此言の三月此の事
万治市を以て此の事此言の三月此の事此言の三月此の事
此の事此言の三月此の事此言の三月此の事此言の三月此の事
後書を以て此の事此言の三月此の事此言の三月此の事此言の三月
子の事此言の三月此の事此言の三月此の事此言の三月此の事

みこメリカ一帰るる形に在り隔國物事在中あらず去留地々
女も日本へ帰るは法は力をして首を斬らる後一切
見こる歸るるに杯の中あらず隔國日本他法知る人々
方々者杯と茶中の或は金山一系くも高船有し候事少く船五二
相渡候上船仕りたり也開帆キヤリハヤと傳を傳へ南ヨメリ
カと岬を望み地方と人身、文々ハ天女七人降有し候事南
ヨメリカノ内ニタコヲ十と云イスハニヤと開帆キヤリハヤと
入洋致す傳留候し新水を取入候は月開帆六月比ヨメリカ
サニツラニセしと中不着帆船入降し大隈の島山と云りやして
船は根後二十五枚を引候氣船を傳へ一夜入海を百五里斗
潮をヤリてトト云云云云若ク是より上渡馬を傳へ諸島実を也

駱一山と云ふ事數十里山上大川ニ有し南川中川北川と云
根は東海北川と云候を傳へ中川ニ有し一丈斗、堀河金精
船は東海北川と云候を傳へ頂上事と云有し、島嶼黃性く山と云
傳キと云候傳へ金を傳へ地は甚暖る金根は木のつら吹を傳へ
お成る事と云舟山世事と云候は甚々一候向日本と云候は
お成る事と云舟山世事と云候は甚々一候向日本と云候は
大其船の者ハ懐快炮と云候れ事と云候は甚々一候向日本と云候は
又中川七十斗傳留金根お成候事と云候は甚々一候向日本と云候は
サニツラニセしと中不着帆船入降し大隈の島山と云りやして
船は根後二十五枚を引候氣船を傳へ一夜入海を百五里斗
潮をヤリてトト云云云云若ク是より上渡馬を傳へ諸島実を也

幸ひ神と人ダツタリヨ一チ不順と成りしか人ハ元學業といはれ
あり多し人を救ひをのほし幸ひと稱し朱く舟に上りては其母
奥山に航海し途中に舟を失ひ朱利幹へ夏に舟の莫莫去利
く坊莫去利と云ふ人との物に舟を停斯波年卯坊何方と云ふ
まゝ事あ成り市故に此地の船中ホハ右と云ふ舟を令せ用ゆ
七倍を令て山に同く沙地に止る舟五艘ハ止りて中ハ芋葱と稱す
他の中ハ芋葱と稱す食糧ハ全後ハ大く其國より入津し船より取上り
に根ハ芋葱の食物長敷多く朱利幹ハ交易物ハ食糧ハ麦と
製し芋葱バシと云ふ物沙羅糖と稱す筒袖仕立彼は朱利幹
く内ハ芋葱ハ男子ハ髪を打つて馬と朱ヨリ馬ハマシベラ根と稱す
編みたるを若し作れ仕ハ女子ハ髪を夫人もとて之髪根と稱す

一
舟在東他と朱利幹は異ならず中事なるは其の合夥年亦ハ
招け日本にありし市ハ其後ハ暖和に時より千餘年在り
小弟利幹本地人お招け亞細亞に異りし舟ハ其方中在り
を昔莫去利と云ふ名の國故にキリス種に人多く其舟に人ハ
舟向く月七が莫よありし舟の時より有るは其舟に其方中在り
代りし國王の中ハ其舟同く其方有る者撰め其王にありし舟にして
他人に譲りし舟故に其舟に其方有る人ハ惜し人ハ其舟ハ其舟
譲りし舟の中ハ其舟に其方有る舟一舟に其舟中其舟ハ其舟
中の他人に譲りし舟故に其舟に其方有る舟一舟に其舟中其舟ハ其舟
收納物ハ其儲蓄ハ其舟に其方有る舟一舟に其舟中其舟ハ其舟
中其舟中其舟ハ其舟に其方有る舟一舟に其舟中其舟ハ其舟

上着短衣下穿褲者緊襪束身表更加刷衣或戴纏笠踏
皮履知是泰西人蓋有漂客歸自米利幹者一時喧傳見者
如堵余適病不得見吉田子永圖以寄余其衣服之容大凡
如茲矣余按地球泰西與米利幹東西雖懸隔凡尚略同
豈以米利幹之地名泰西人所割據予子永次弟其漂寓事
實成小冊子明白簡盡一覽可了索序余之嘗聞大南海中
有慈石灼礮船或近之鐵釘皆所喻拔俄頃名齏書中亦
載之今航海日廣全地球中莫不徑一蹙而南極下之記洋如不可
測乃漂客所語果信耶吾列僻遠無研西數面書者而漂客已
解米利幹語又習其文字足以審彼之情而補已之不足是書
著何徒誇奇吉田秋序

采利幹竹枝

吉田正樂言草

柳影折声秋正忙村々雪盡來夕登場晨昏猶自夕
情思体道名誰成靚粧

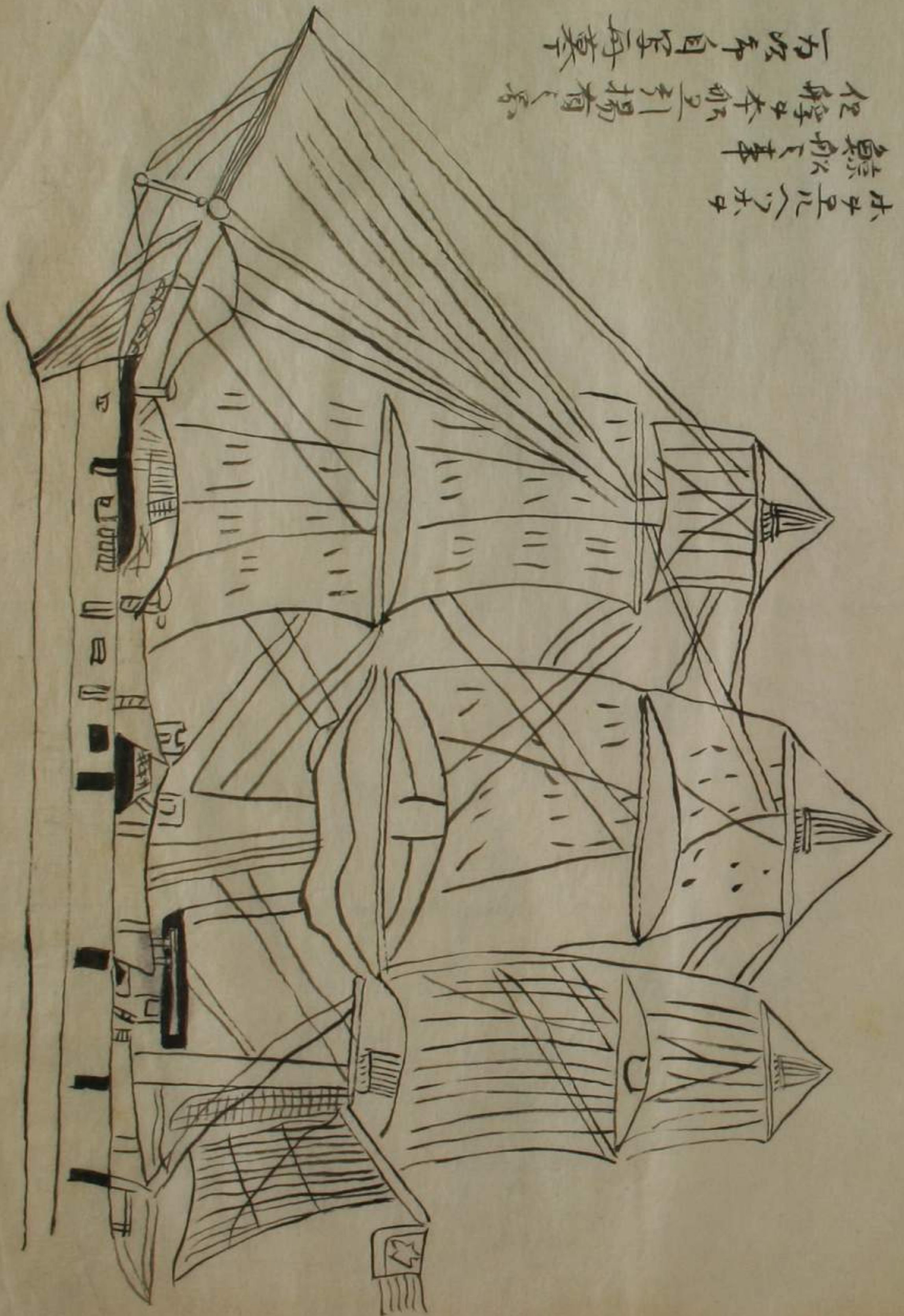
阿郎不捕大洋鯨貿易金壹任滿州獨守汝貞眠又
覺瓊屏裏三秋

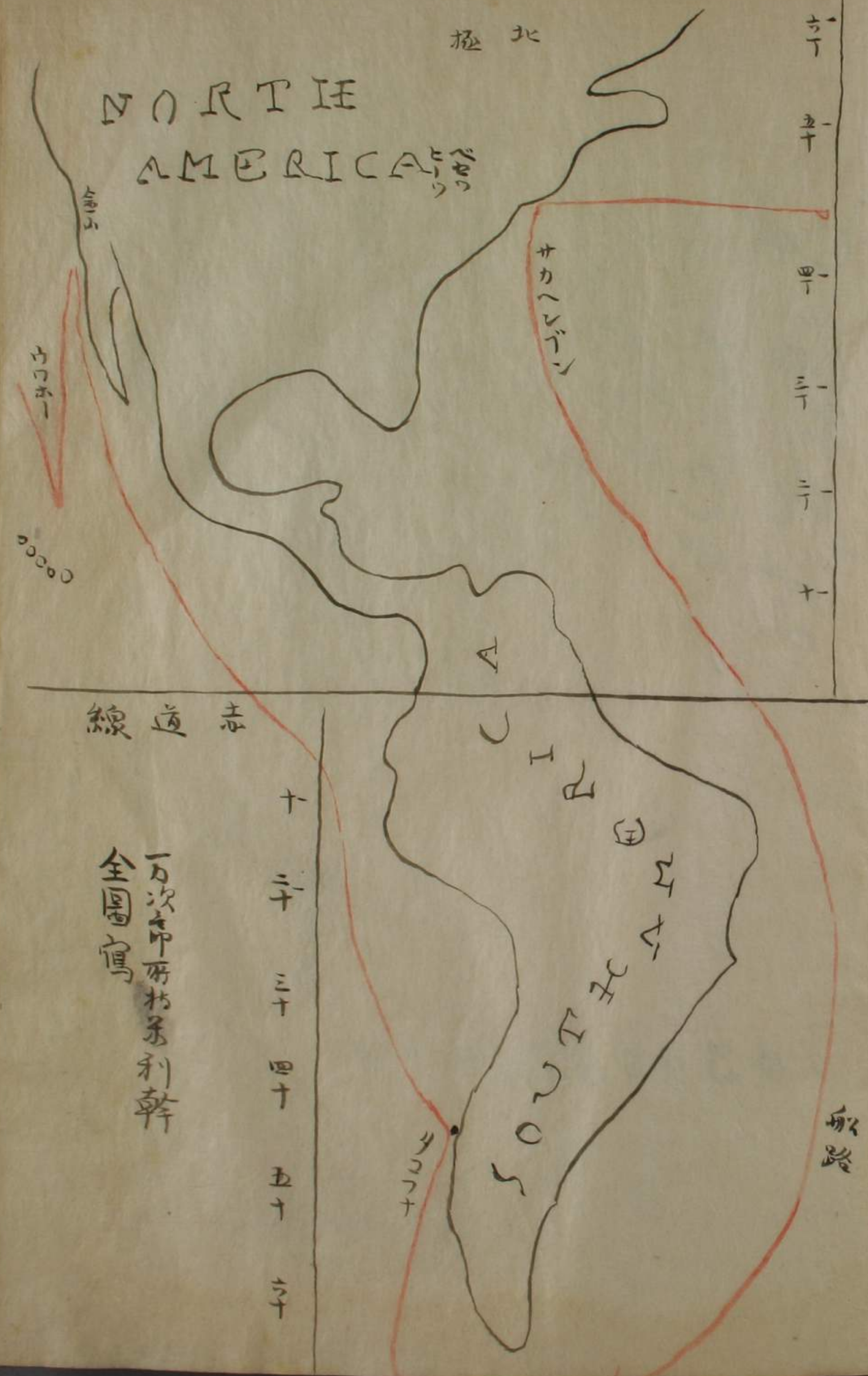
港口青樓倚水連今迎英船昨蘭船芳醅取醉猶堪厭
僑口何吹鴉片烟

周道坦々何厭迂繞山治水達王都国王巡狩不成隊
戴笠立跨鞍後一奴

六舟是之六舟
鯨船之事

但解舟本帆引揚有之
乃吹舟自字母卷





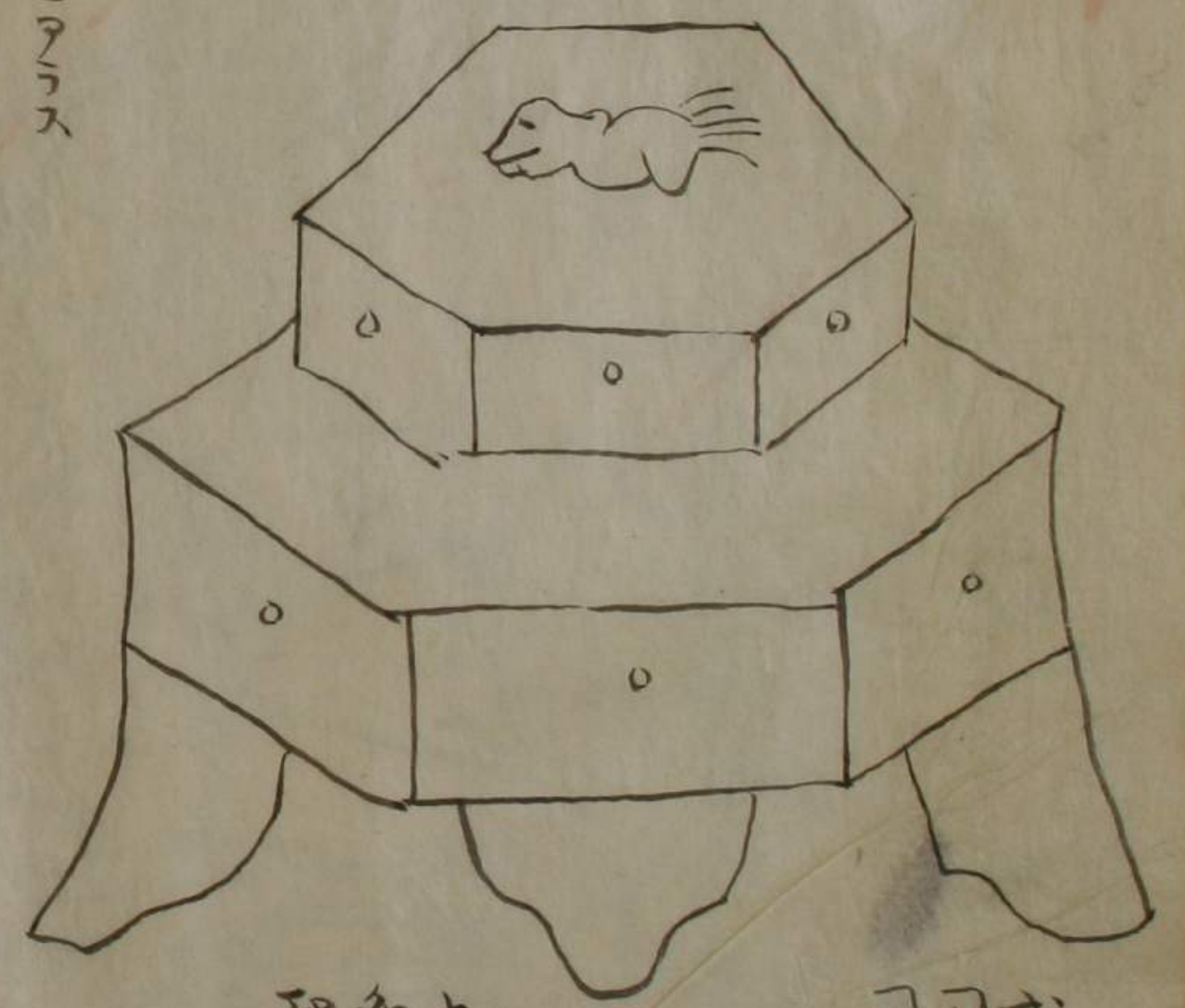
赤道線

一万次印所利幹
全圖寫

十
二十
三十
四十
五十
六十

此後曰此墓ノ圖全ク堂中カ墓ニアラス
至聖利加在所ノ墓全ノ圖也ト

ハ ウ	ペ ル	チ ヤ ン
er	ah	oie
er	ra	ra
コン	子ヨコ	バ



上ノ文字。此印、
名ニ彫付有之由
恐誤寫ヲラン

此書ニ堂中墓全圖
ハハフニ墓全ノ
フルインヤト云

ヨイ 為イ エイ 又タイ 伊イ ユス 伊イ 伊イ
 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ
 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ
 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ
 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ
 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ 乃イ

采利幹通用文
 文二十六
 一本ノ内ナキ

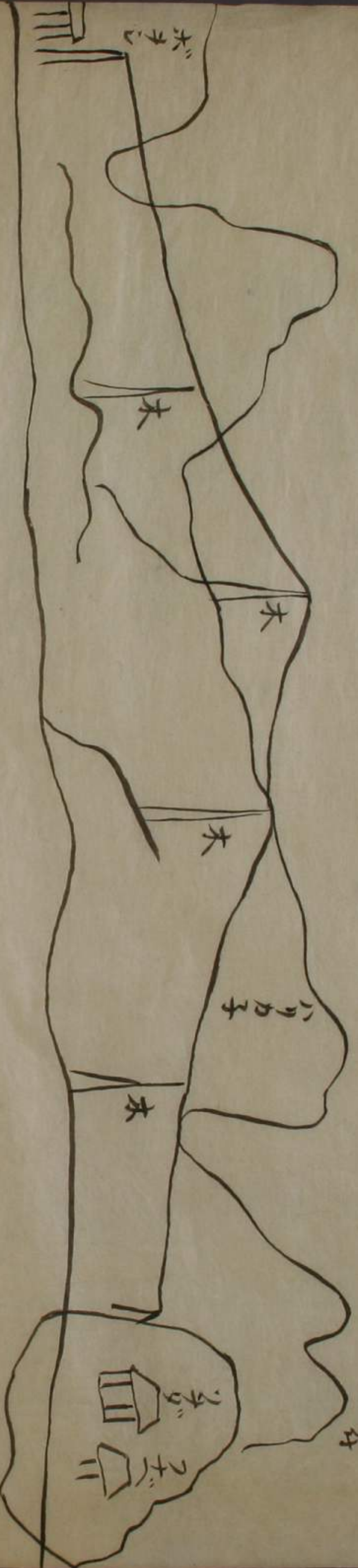
救量字

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十
 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

百音言
 乃 乃 乃 乃

鳥王武説王室ハ地構ニテ城ニアラス本邦富高ノ宅ソラヒナリ五六七島主名
 ヨケチリヨフ
 后ノ名ヘメハメヤ往来
 馬ニ乗竹旗ヲ持ス圖ノ
 如シ

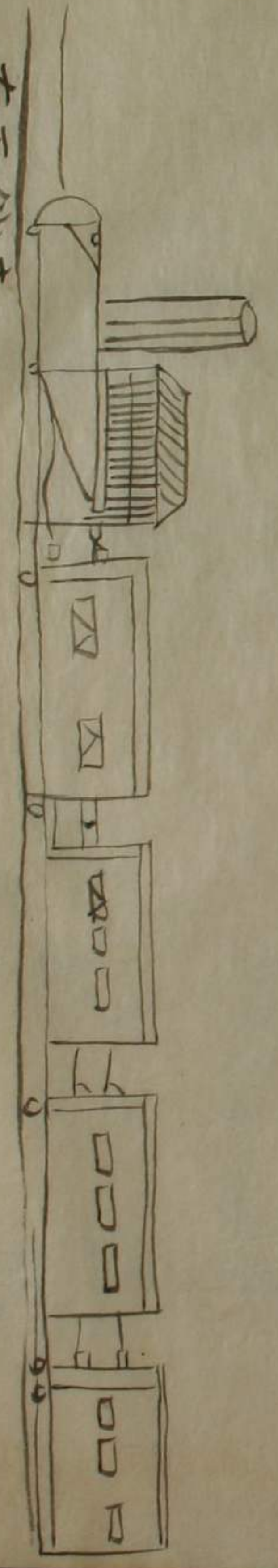
赤	白	赤	白
コ	ン		



鳥王武
 鐵場
 金
 伊三
 大
 不
 家

イナカ
 木
 イナカ
 木
 イナカ
 木
 イナカ
 木
 伊三
 大
 不
 家

車運
 鐵
 敷
 付
 何
 百
 里
 之
 道
 付
 有
 由



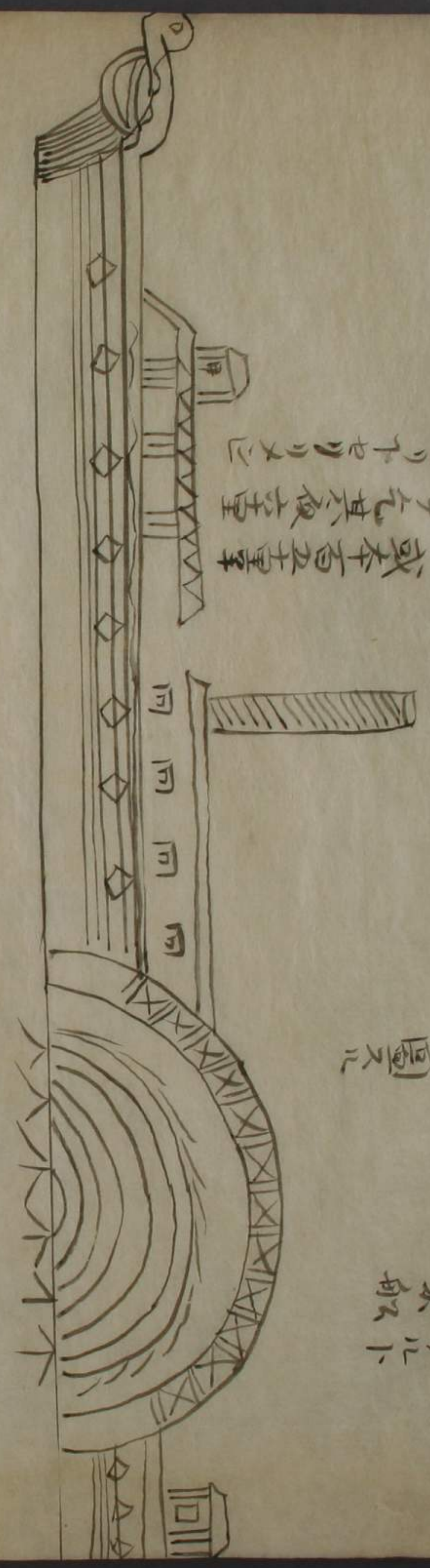
万
 次
 帝
 圖
 寫

イナカ
 木
 イナカ
 木
 イナカ
 木
 イナカ
 木
 伊三
 大
 不
 家

ヒ子三ボ
ル
蒸氣船

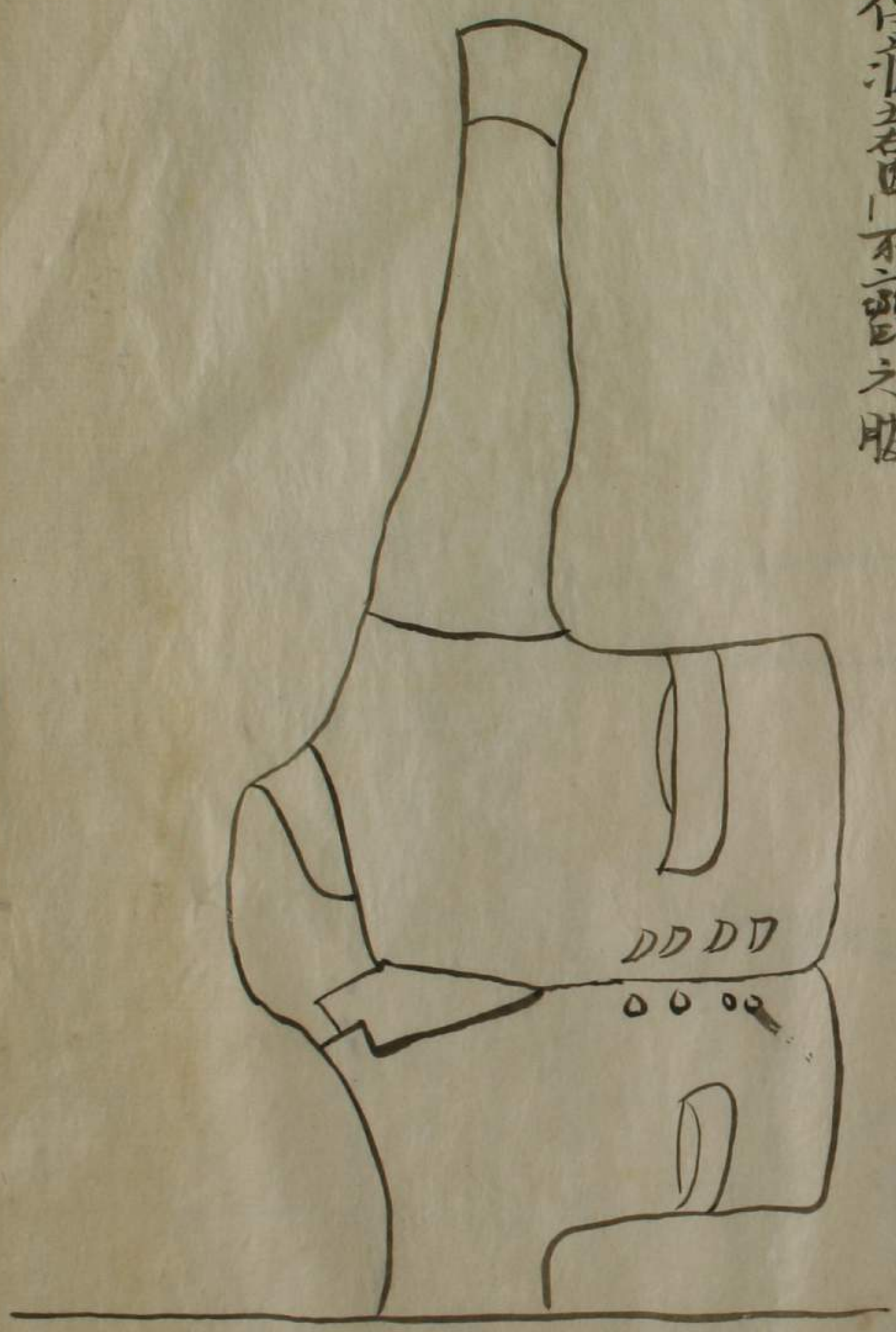
万次舟圖

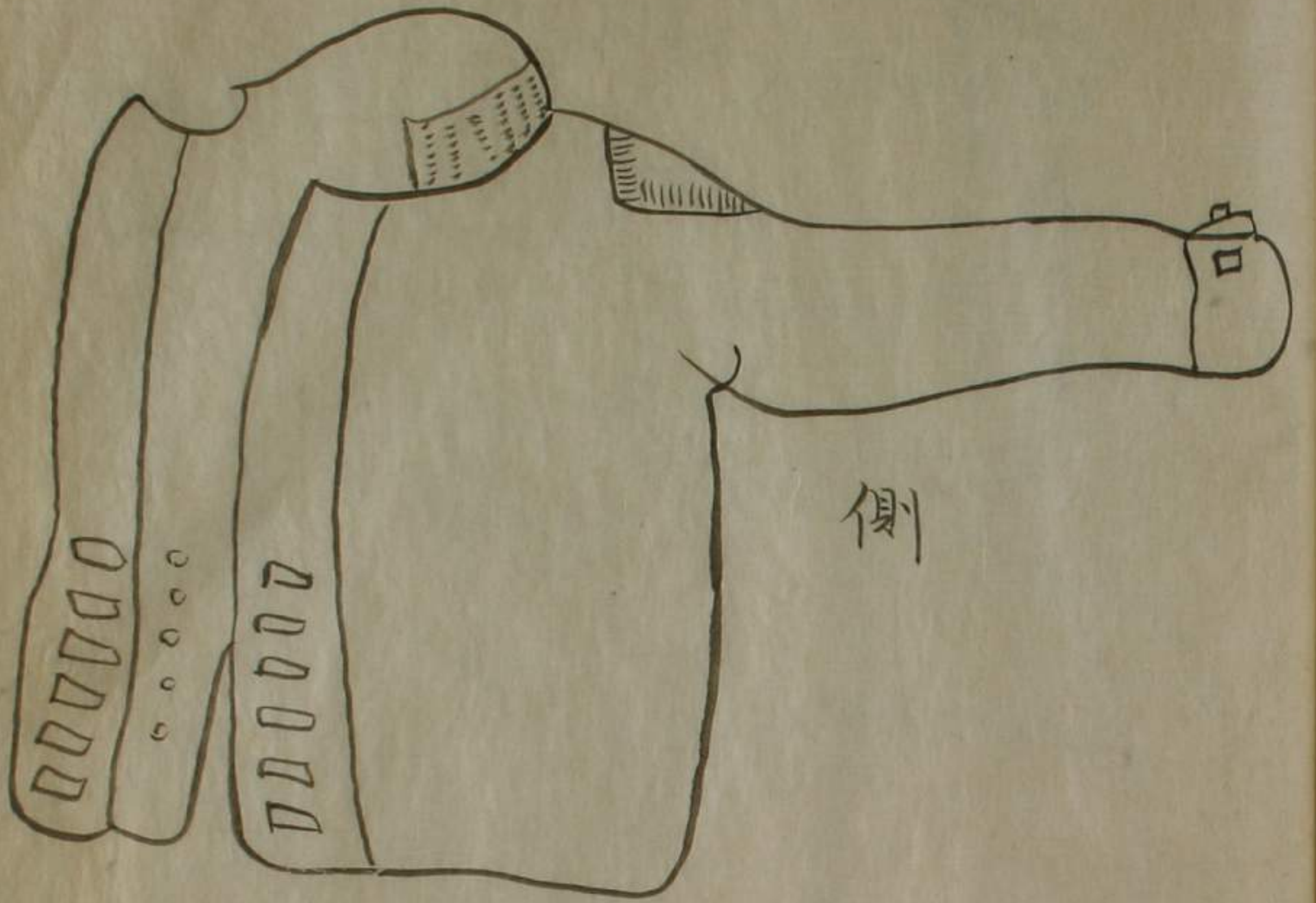
所載



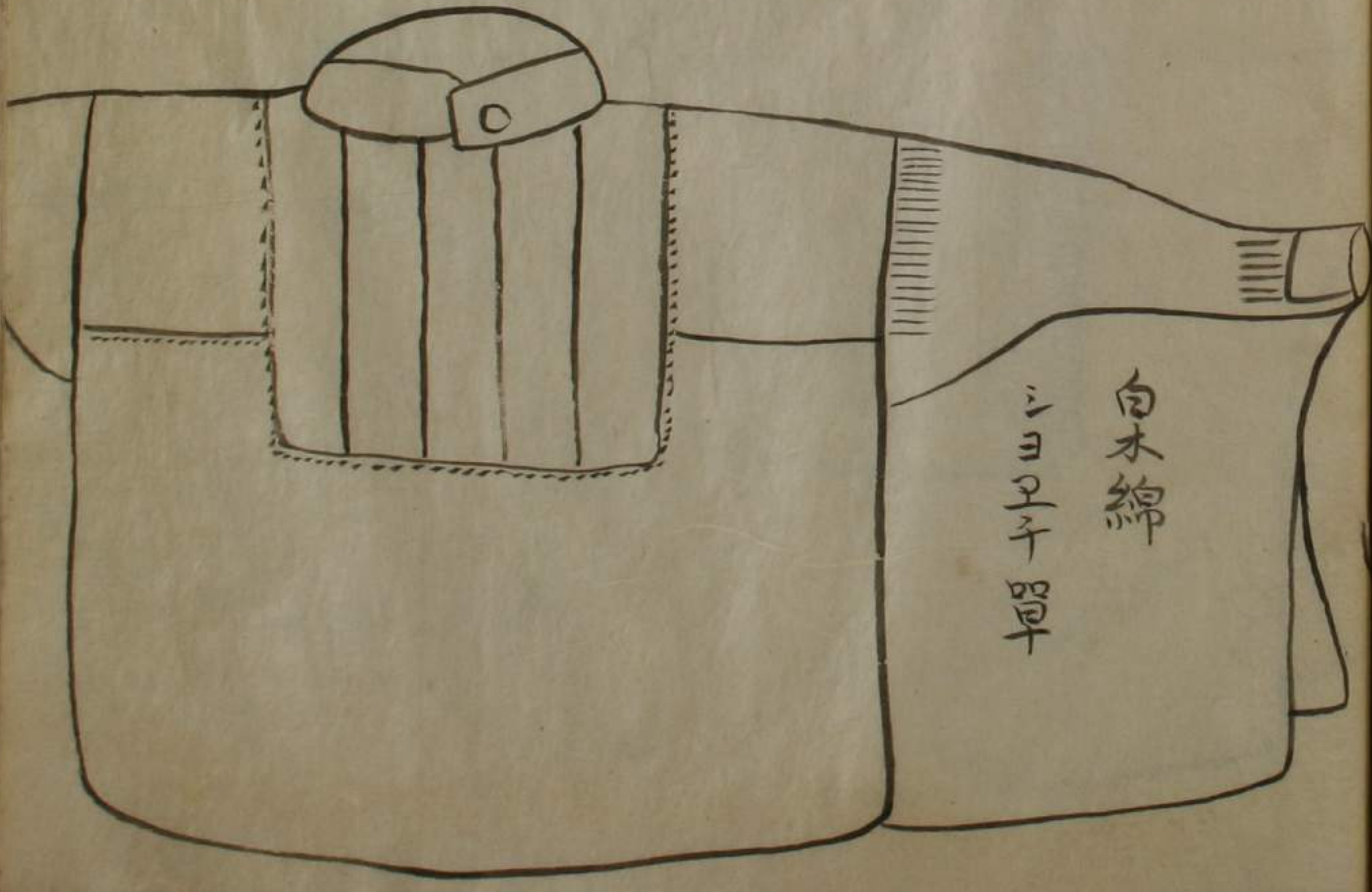
カリルニ
或本百五
十
火船
便
其
後
室
斗
水
上
走
リ
ナ
リ
メ
シ
着

傳
減
五
右
門
不
齊
之
版

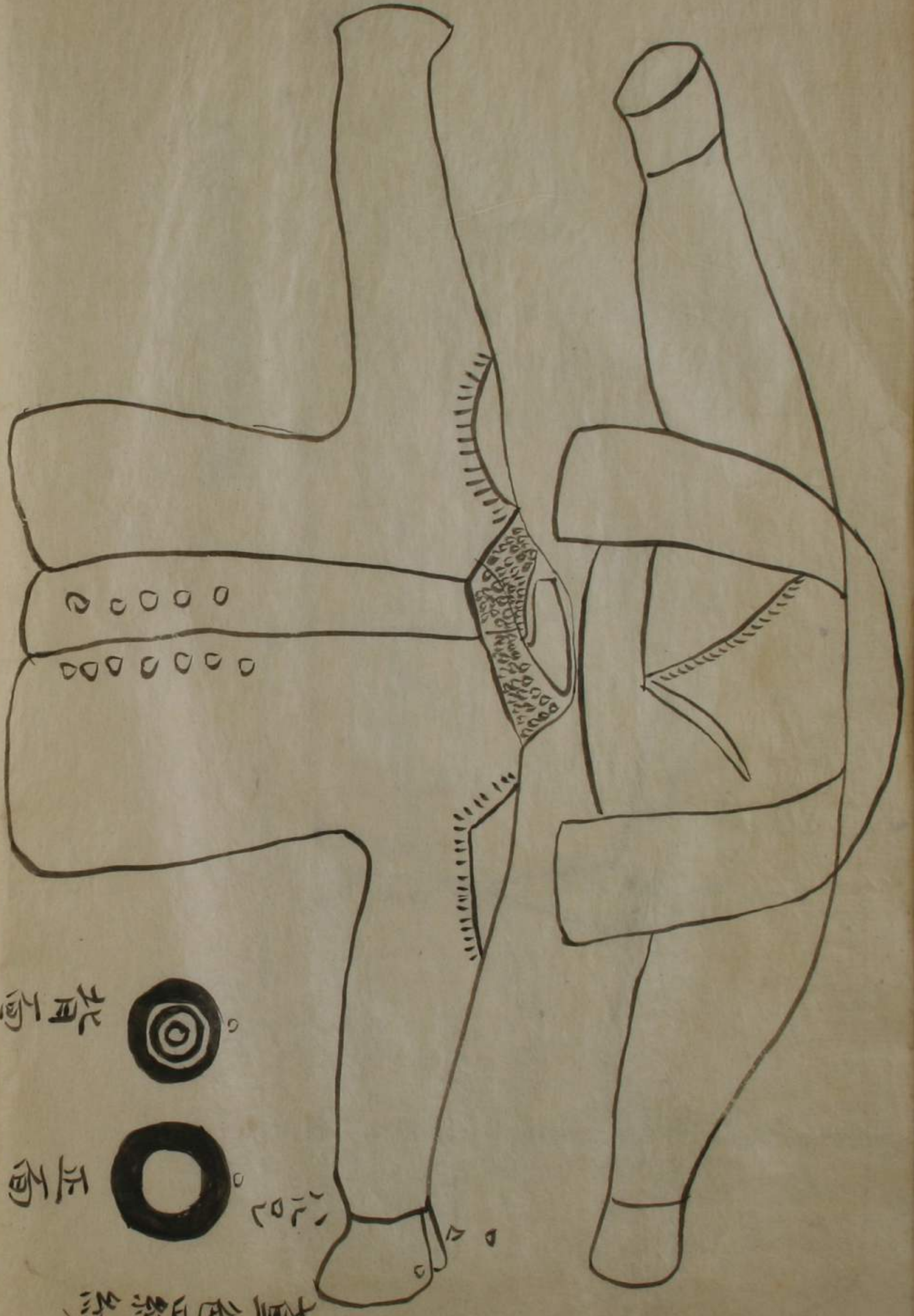




側



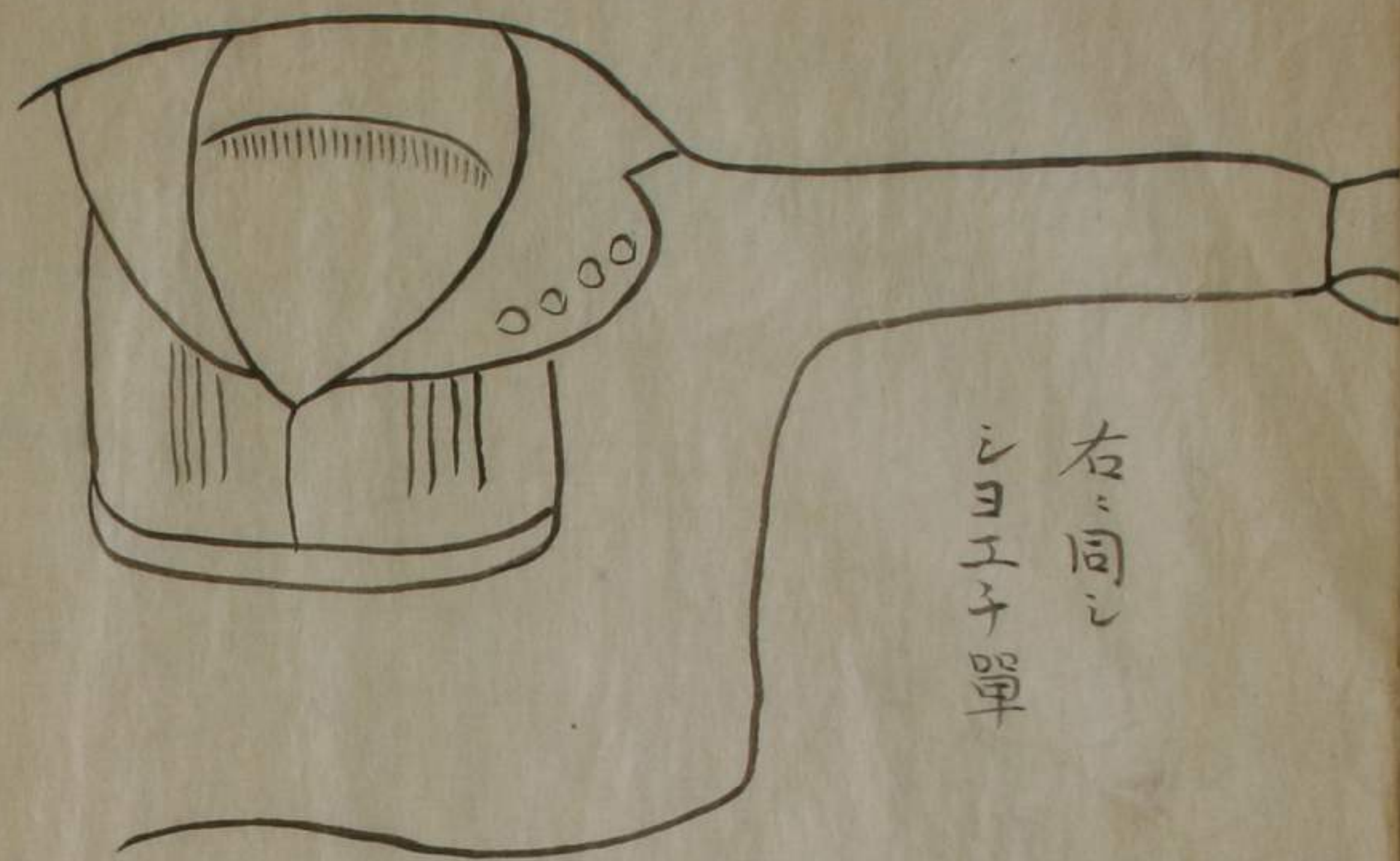
白水綿
三山平單



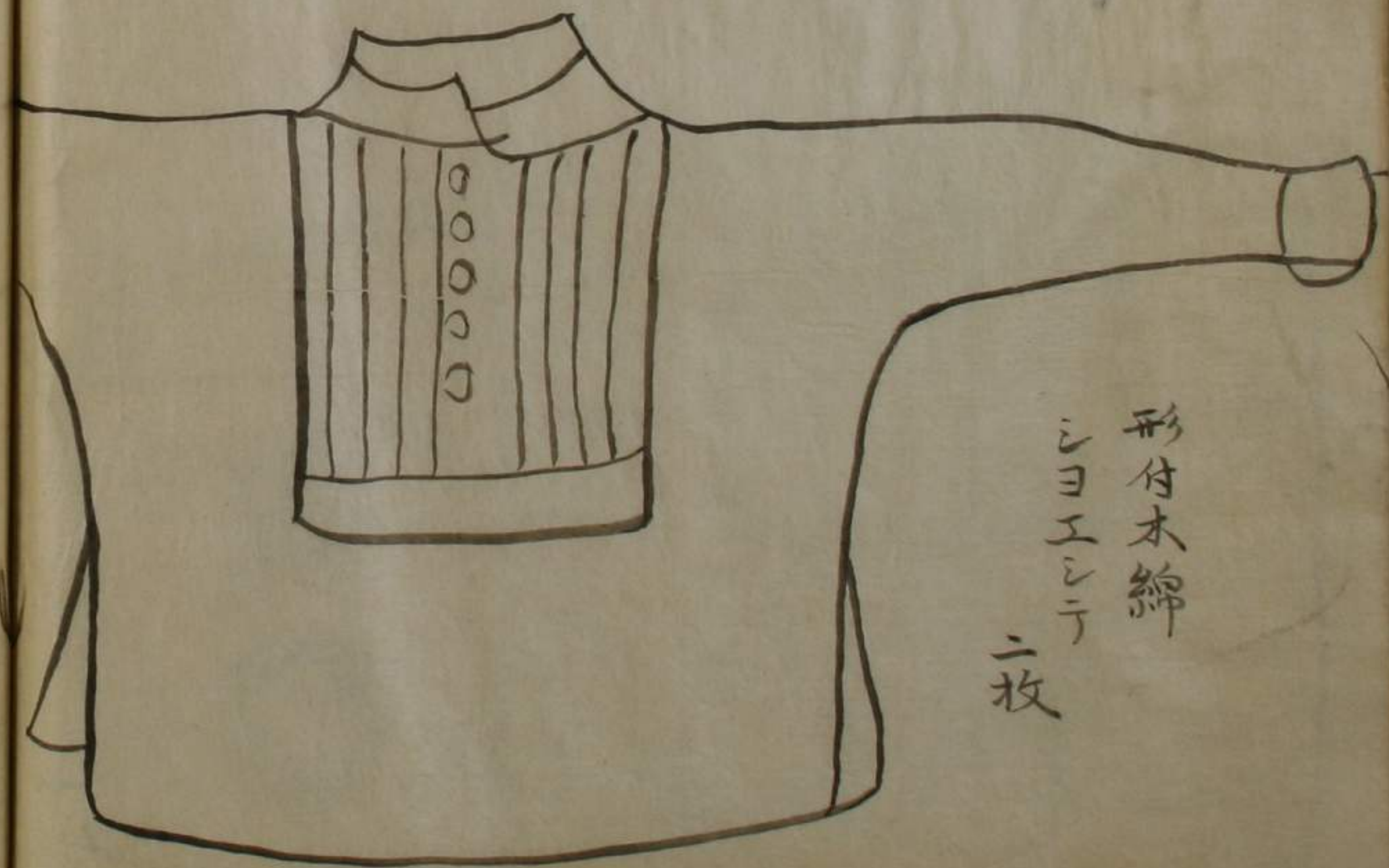
背高
正高

雙色羅紗

浅黄
木綿
付
千ヤケト



右
同
シヨ
工
子
單

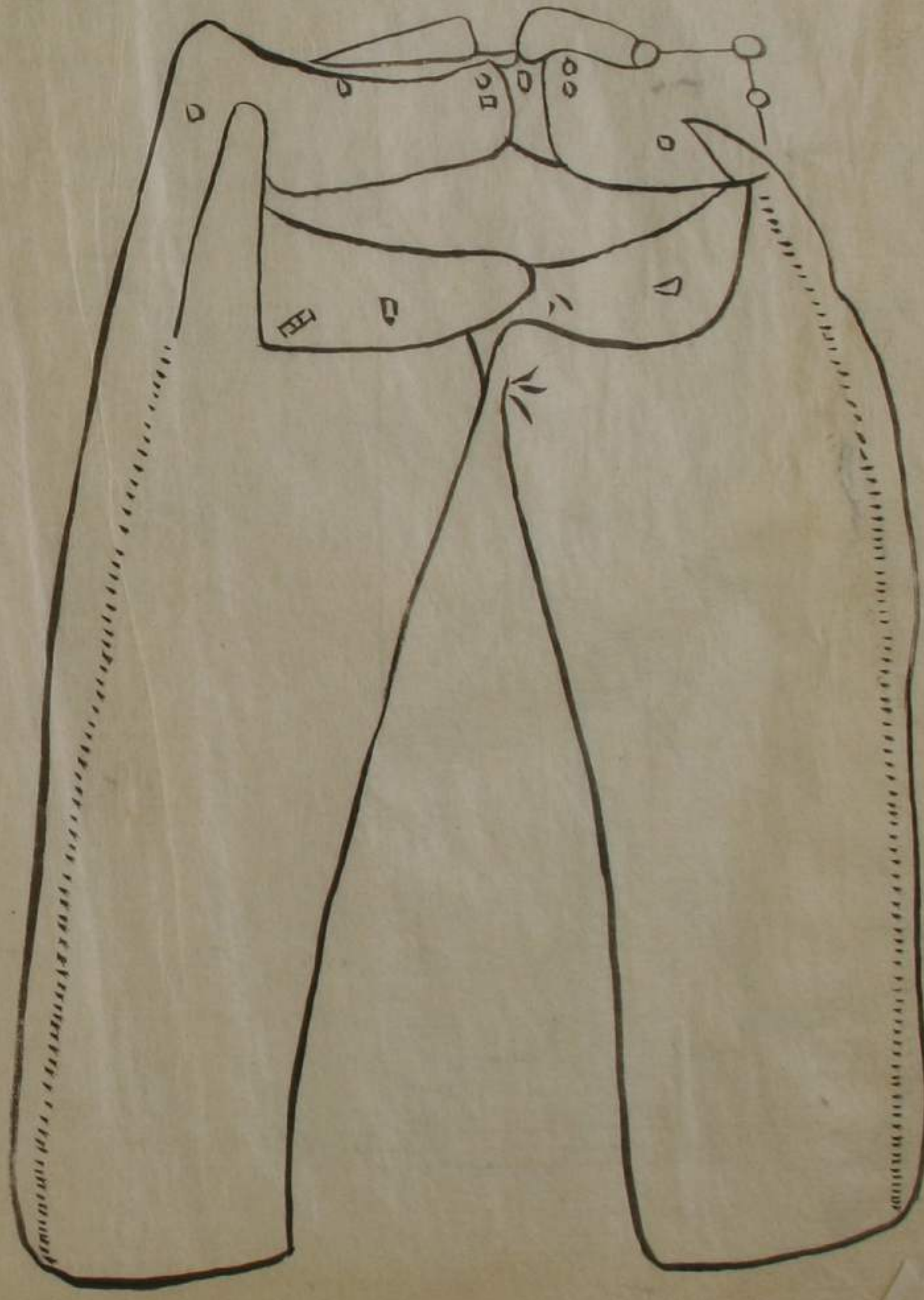


形
付
木
綿
シ
ヨ
工
子
二
枚

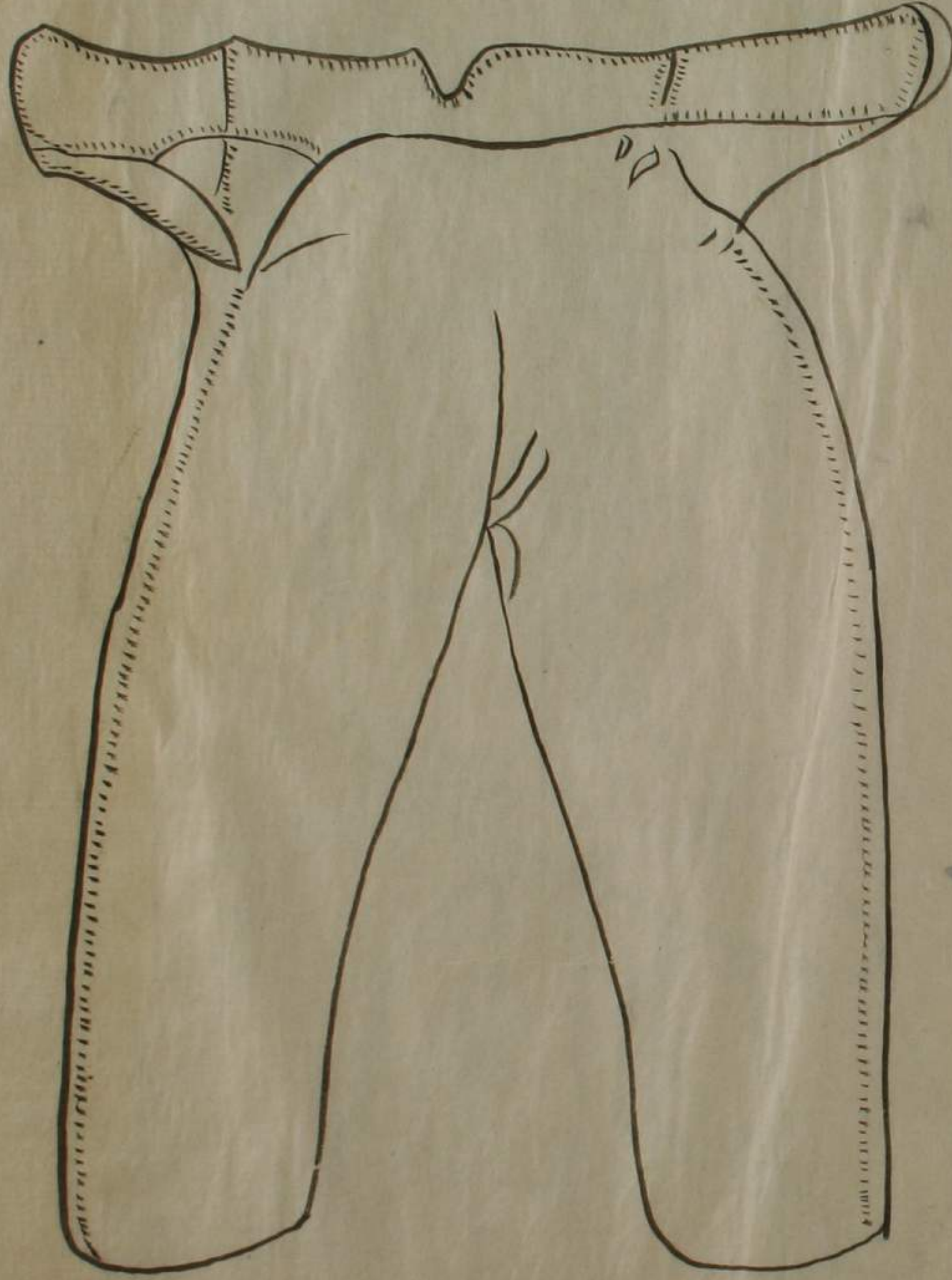
鳥色羅紗
千ヤケト



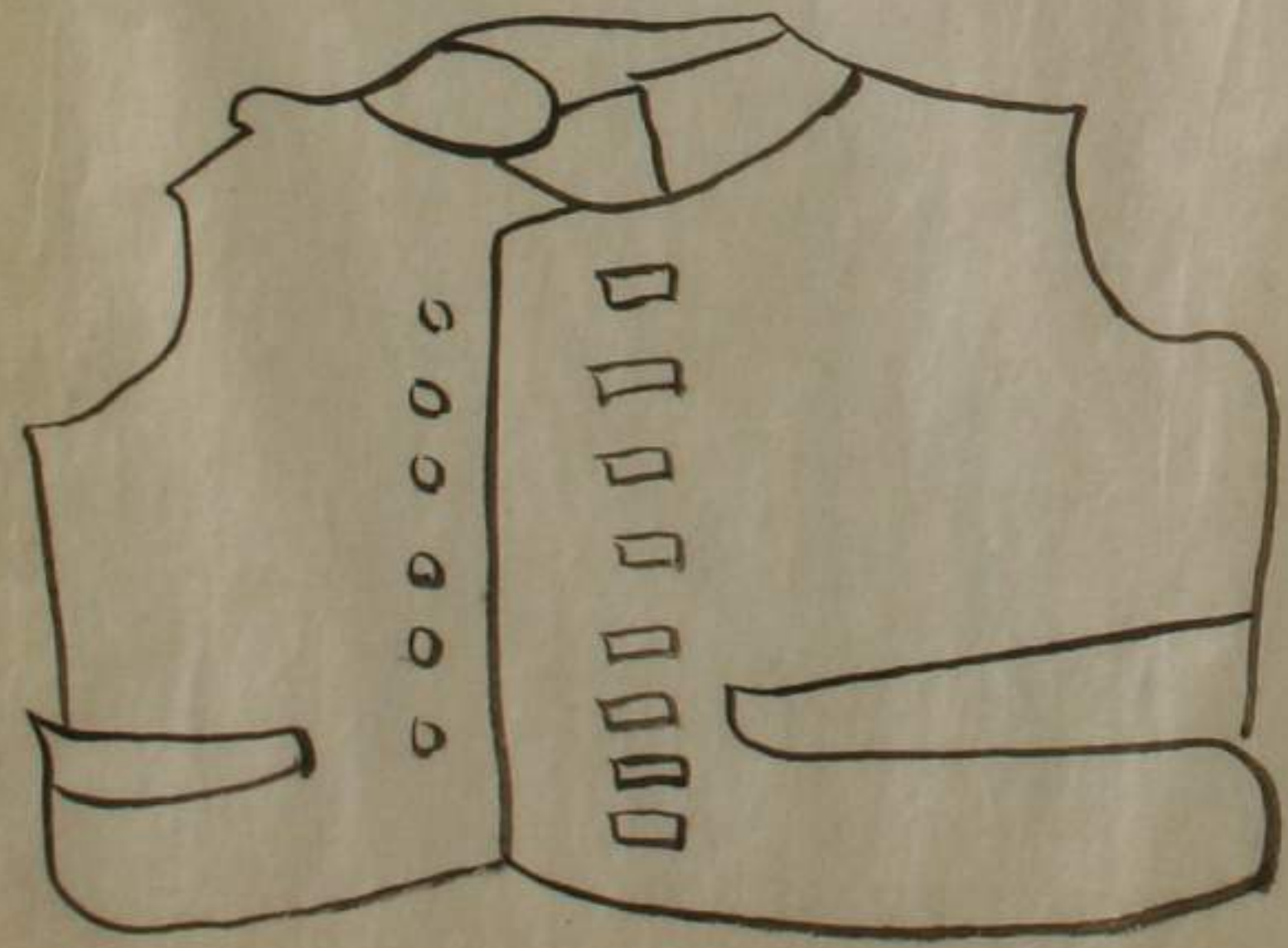
四維紗
ツラロン二枚
ツレモ云



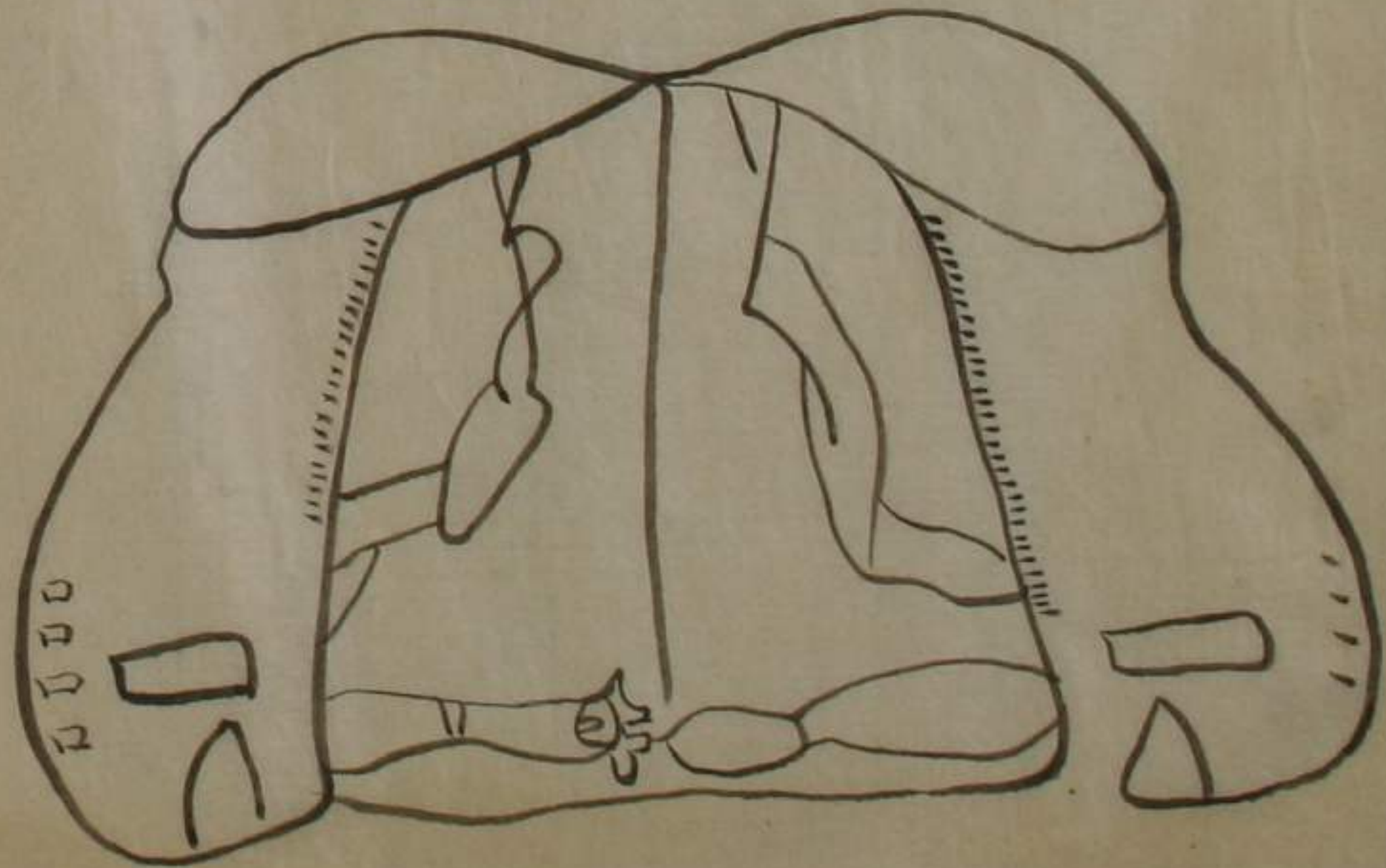
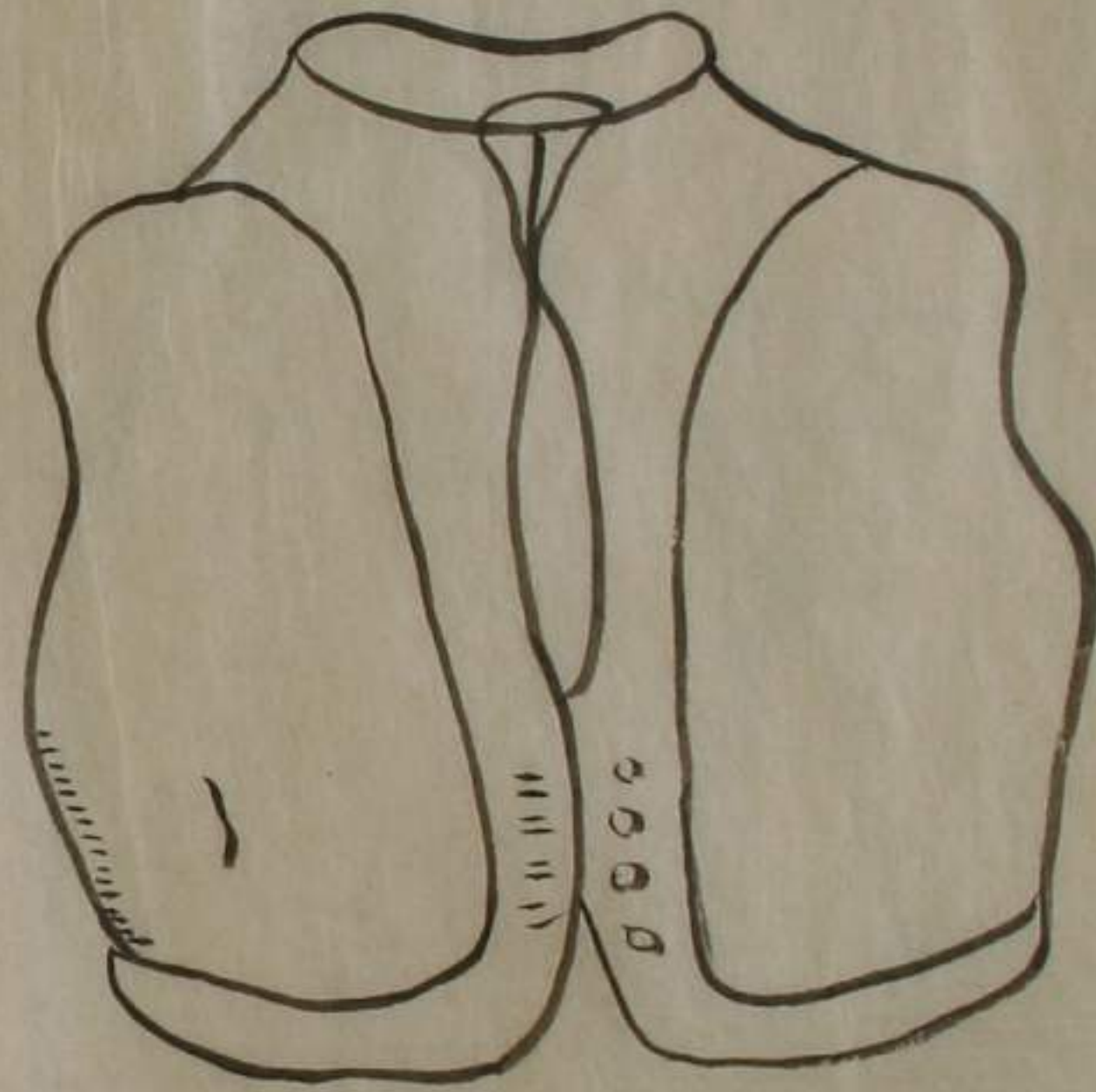
白木綿三枚
古木綿二枚
古キ縮木綿一枚
凡七枚之略也



万次郎所齋

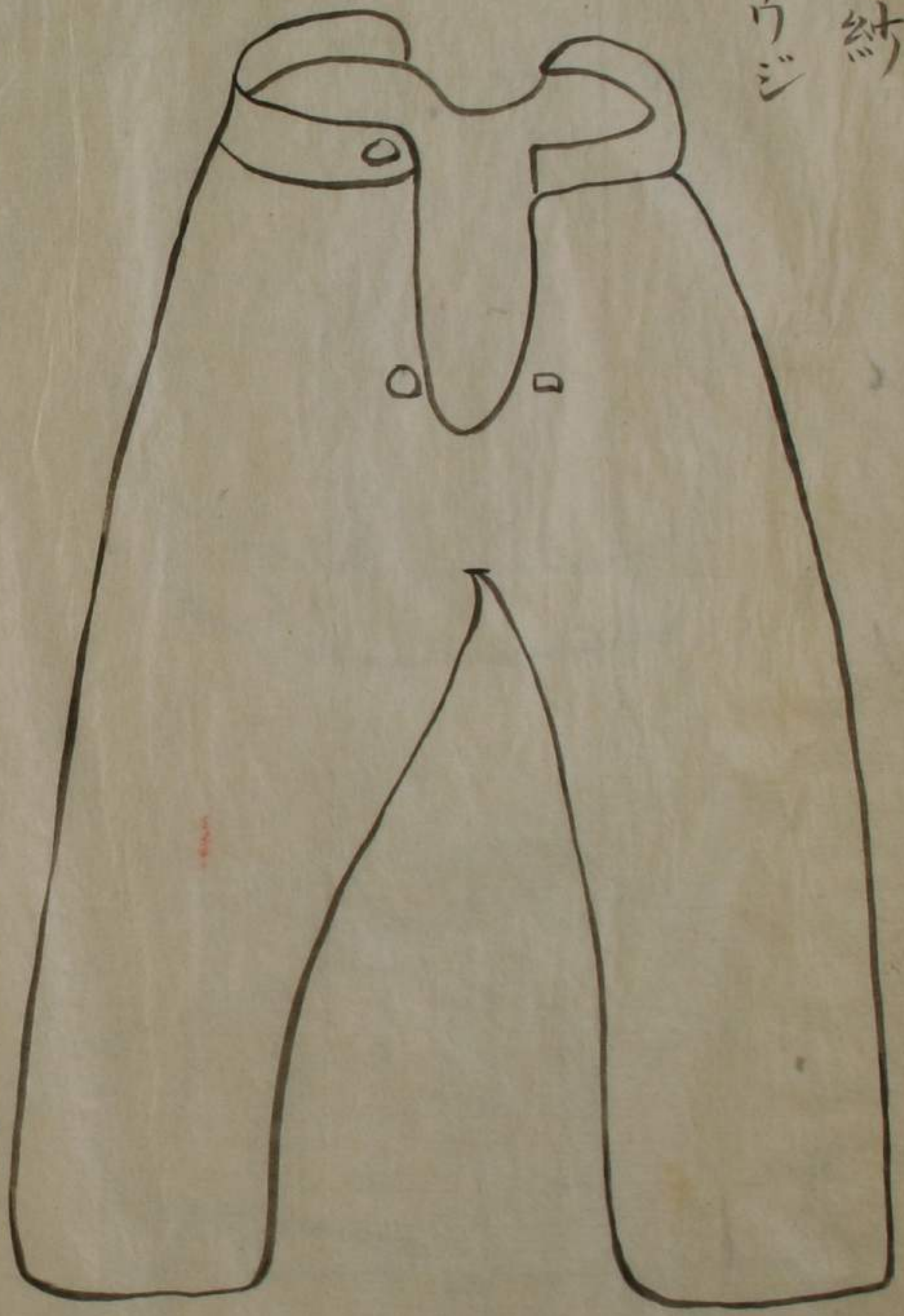


白木綿二枚
ベエン



紅羅紗

ツロウジ



漂客往来海路全圖

五人者最初漂流ヨリ無人島ニテ助ケラレ

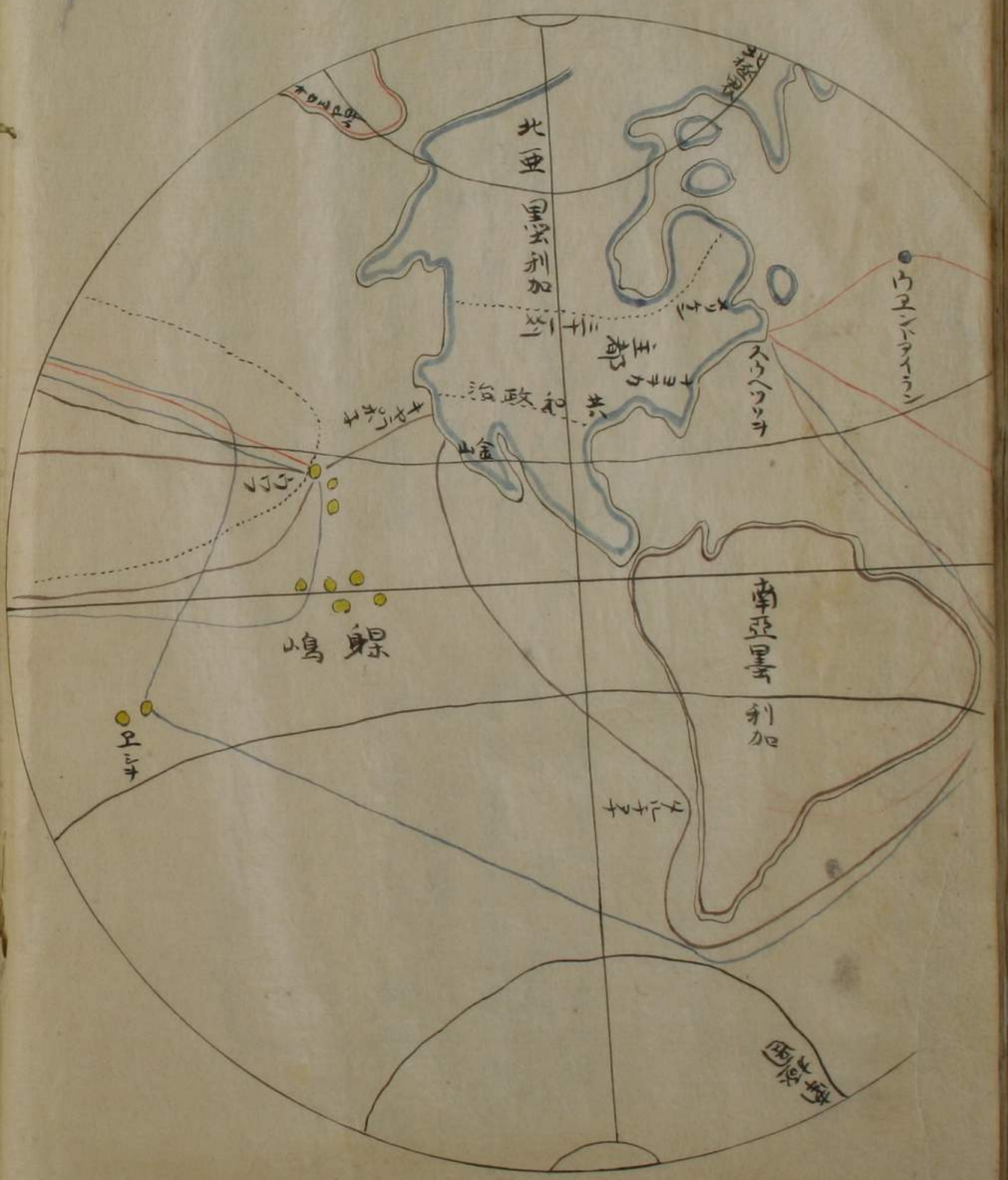
- ウラホト星者万次郎を船頭ニ連ラシメ又ニ別出帆
- 鯨島・キウワアン無人島近辺日本東沖
- ウラフ沖ヨリ・エシチ・南アメリカ島オクメクリ
- 北アメリカカ中スベツソチへ着候迄ニ船路や
- 傳藏五石工門鯨船ニ使テウラフ出帆
- ヨリコギウツアニ日本東松前ヨリ北ノ方
- ヲロシヤ自景前ヨリ再ウラフ帰路や

一
 万次郎アメリカニテ鯨船ニリ組
 又ウラフ出帆ウラントタイラニケツ
 ホチエニ垂布星加自景マフリ大モチ
 〇キウワアンニ大ワシ近辺琉球無人
 島日本東沖ウラフ星有海路や



右の如く出帆船島コキウワシロコキチ琉球
 近江日本東伊キウワシロコキチ琉球
 ロソイモチノセテカンカニ近江
 亞弗里加ヲシントヘト近江
 通ルメリカ又バツソチノ
 舟帆取器也

一万次昂アメリカ使節
 ナ以又ヘツワチ出帆船
 アメリカノ使節チメリ
 コサルケチナノキヤフ
 ボ子金山ノウワーニ
 傳藏主ノ供ニミ合
 同所出帆琉球着薩利
 マテ帰國ノ船路也



琴ビヤ 不知
 三味ハシ 不知
 鼓セ 不知
 金カネ
 銀ギン
 錢ゼン

右同取體え部上同

同ドウ モウ ノチス
 加カ イ イ
 鼻ハ ハヤ ハヤ
 活カク ハ ハ
 背セ ハ ハ
 額ガク ホ ホ
 明メイ ハ ハ
 齒シ ハ ハ
 耳ミミ ハ ハ
 腹ハラ ハ ハ
 乳チ ハ ハ
 唇シブ ハ ハ
 毛モウ ハ ハ
 腰ウシ ハ ハ
 足タシ ハ ハ
 手テ ハ ハ
 白ハク ハ ハ
 髮ヘ ハ ハ
 乃ノ ハ ハ
 子コ ハ ハ
 首ウツ ハ ハ
 尿シユ ハ ハ
 欠ケツ ハ ハ
 胎タイ ハ ハ
 空クウ ハ ハ
 腹ハラ ハ ハ
 子コ ハ ハ
 又マタ ハ ハ
 每ツネニ ハ ハ
 娘メ ハ ハ
 女メ ハ ハ
 兄ケイ ハ ハ
 弟テイ ハ ハ
 姉シ ハ ハ
 妹メイ ハ ハ
 妻ツメ ハ ハ
 士シ ハ ハ
 仲チュウ ハ ハ
 人ヒト ハ ハ
 交カウ ハ ハ
 合カウ ハ ハ
 後ゴ ハ ハ
 後ゴ ハ ハ
 百ヒャク ハ ハ
 姓セイ ハ ハ
 人ヒト ハ ハ
 男オトコ ハ ハ
 親オヤ ハ ハ
 親オヤ ハ ハ
 躬ミヤマシ ハ ハ

也ヤ ハ ハ
 武ブ ハ ハ
 男オトコ ハ ハ
 若ニホ ハ ハ
 夫フ ハ ハ
 婦メ ハ ハ
 尼ニ ハ ハ
 役ヤク ハ ハ
 人ヒト ハ ハ

右同象形ノ部上同

大ダイ ハ ハ
 猫ネコ ハ ハ
 牛ウシ ハ ハ
 馬ウマ ハ ハ
 虎コ ハ ハ
 駱ラク ハ ハ
 駝ト ハ ハ
 猪ブタ ハ ハ
 豕シ ハ ハ
 象ゾウ ハ ハ
 鳥トリ ハ ハ
 賊ゾク ハ ハ
 海ウミ ハ ハ
 老オシロイ ハ ハ
 鷄トリ ハ ハ
 家ウチ ハ ハ
 鴨カモ ハ ハ
 蛇ヘビ ハ ハ
 鼠ネズミ ハ ハ
 雀スズク ハ ハ
 蚕イモ ハ ハ
 蜘蛛クモ ハ ハ
 鹿カ ハ ハ
 鷓トリ ハ ハ
 蠅ハエ ハ ハ
 鳥トリ ハ ハ

但方改帝号日本ノ鳥類著述ニ不相辨有候ト引立當石お温依事
 内ハフニハ日本ノゴトキ鳥類餘汁居石申段傳花五石門申出依事
 或本虎象アリテ獅子ハナレ直詔象ハ矢竹ニヨリ口タリテ見セ物
 成リシヲ見タリシトワ

右同版食草木之部上同

香シメシメ 産ウツクシヤ 生ナマ 死シ 皆ナニ 礼レ 向ムカフ 跡アト

答コタヘ 男オトコ 女メ 借カケ 返マゼ 甘アミ 遊アソブ 山ヤマ 穴アナ 味アジ 喧カゲ 朝アサ 換カ 扱サツ

御ミコ 様サマ 傳ツタヘ 藏クラ 上ウヘ 皇ミカド 助タケ 五イヒ 右ミダ 工テ 門カド 寅トモ 右ミダ 工テ 門カド 万マン 次ジ 郎ラウ



Handwritten characters at the bottom of the page.

100-



八十一
二

八十一
二

